

14. キャンプファイアー・キャンドルファイアー

1. ねらい

闇夜の中で、燃えさかる神聖な火のもとにつどい、自他ともに見つめ合い語り合うことを通じて、友情と協同の精神を養い親睦を図ることをめざします。

2. 時期と時間

- ・キャンプファイアーは、5月から10月頃が適切です。
(それ以外の時期は気温が低く風も強いいため不向きです。)
- ・キャンドルファイアーは、室内で行いますので年間を通じて活動できます。
- ・1時間30分～2時間

3. 準備

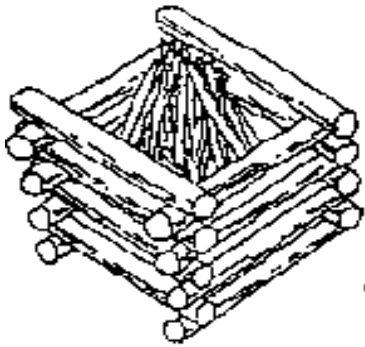
	自然の家で貸出できる物 とその保管場所	利用者で準備するもの	事前準備(例)
キャンプファイアー	<p>【事務局】</p> <p>①アンプ (付属)ワイヤレスマイク</p> <p>②CDラジカセ</p> <p>③延長コード</p> <p>④アコーディオン</p> <p>⑤タンバリン</p> <p>⑥ギター (チューニングは団体でお願いします)</p> <p>【利用者玄関横用具入れ】</p> <p>①火ばさみ</p> <p>②消火用バケツ</p> <p>③スコップ</p> <p>④一輪車</p> <p>⑤その他掃除用具</p>	<p>①新聞紙</p> <p>②トーチ棒 (売店で購入可)</p> <p>③まき・灯油 (売店で購入可)</p> <p>④軍手</p> <p>⑤マッチ、ライター等</p>	
キャンドルファイアー	<p>【事務局】</p> <p>①アンプ (付属)ワイヤレスマイク</p> <p>②CDラジカセ</p> <p>③延長コード</p> <p>④アコーディオン</p> <p>⑤タンバリン</p> <p>⑥ギター (チューニングは団体でお願いします)</p> <p>☆キャンドル台 クラフトホール、プレイホール、 なかよしホールの倉庫内、 研修棟1Fロビーにあります。</p>	<p>①ろうそく (売店で購入可)</p> <p>※キャンドル台には、 約15本ろうそく(大) を立てられます。 ろうそく(小)について は、団体で相談のうえ、 必要分ご準備ください。</p> <p>ろうそく(小)は、アルミホ イル付。なお、<u>エコロジーホ ールでは、ろうそくは使用 できません。</u></p> <p>②マッチ、ライター等</p>	<p>①役割分担の確認</p> <p>②ろうそくの設置、配布 ろうそく(大)： 1 《女神用》 約20本《キャンドル台用》 ろうそく(小)：必要数</p> <p>③キャンドル台</p> <p>④座席の確認</p> <p>⑤女神等の衣装</p>

4. 活動内容

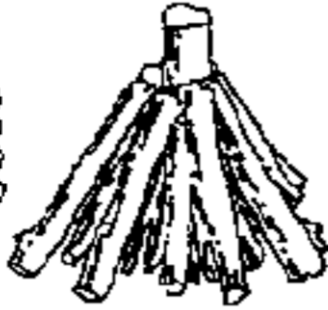
(役割分担) 営火長、火の神(女神)、エールマスター(進行役)、ファイアーキーパー(営火) 分火係、準備係、後始末係など

(まきの組み方の例)

A. キャンプファイアー



井桁の中にインディアン



インディアン型

B. キャンドルファイアー



【 展 開 例 】

	キャンプファイアー	キャンドルファイアー
【第一部】 10分 ~ 15分	集 合 ・ファイアー場から少し離れたところ。 (利用者玄関前等)	集 合 ・ファイアー場から少し離れたところ。 (2フロビー等)
	入 場 ・静かにファイアー場を1周まわり席に着きます。	入 場 ・静かにファイアー場を1周まわり席に着きます。
	夕 べ の 歌 ・「遠き山に日は落ちて」歌及びハミング 〈途中に聖火入場〉	夕 べ の 歌 ・「遠き山に日は落ちて」歌及びハミング 〈途中に聖火入場〉
	聖 火 入 場 ・ファイアー場を1周し、定位置につきます。	聖 火 入 場 ・ファイアー場を1周し、定位置につきます。
	女 神 の 言 葉 ・(資料参照)	女 神 の 言 葉 ・(資料参照)
	分 火 ・分火係は、営火長のところに集まります。 〈女神→営火長→分火係〉	分 火 ・分火係は、営火長のところに集まります。 〈女神→営火長→分火係〉
	献 詞 ・(資料参照)	点 火 ・分火係は、自分の席に戻る。
	点 火 ・営火長、分火係が一斉に点火	献 詞 ・(資料参照)
	歌 ・「もえろよもえろ」 〈校歌、団体歌、楽しい歌など〉	集 火 ・営火長、分火係が一斉に点火 歌 ・「もえろよもえろ」 〈校歌、団体歌、楽しい歌〉

<p style="text-align: center;">[第二部]</p> <p style="text-align: center;">60分 ～ 90分</p>	<p>活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム、スタンツやフォークダンス等 〈全員が声を出し身体を動かして楽しめるもの〉 <p>歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かな歌 〈赤とんぼ、四季の歌、ともしび、母さんの歌等〉 	<p>活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム、スタンツやフォークダンス等 〈全員が声を出し身体を動かして楽しめるもの〉 <p>歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かな歌 〈赤とんぼ、四季の歌、ともしび、母さんの歌等〉
<p style="text-align: center;">[第三部]</p> <p style="text-align: center;">10分 ～ 15分</p>	<p>営火長の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象に残るもの ・(資料参照) <p>トーチサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営火長がファイアーからトーチ棒に点火し、代表に分火 〈営火長→班長→班員に点火〉 <p>終わりの歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりの歌 〈1日の終わり、今日の日はさようなら、別れの歌等〉 <p>退場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「蛍の光」等の歌を歌い女神、営火長、各班と退場 	<p>営火長の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象に残るもの ・(資料参照) 〈この時、女神のロウソクの火だけ残し、営火係は他の火を全部消す〉 <p>終わりの歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりの歌 〈1日の終わり、今日の日はさようなら、別れの歌等〉 <p>退場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「蛍の光」等の歌を歌い女神、営火長、各班と退場
<p style="text-align: center;">[片付け]</p>	<p>【当日の片付け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイアーの燃え残りのまきはすべて燃やしきり、自然消化します。 ※<u>水をかけて消火しない</u>でください! <p>【翌日の片付け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌日の朝、ファイアー場の清掃、整理をします。 ・残炭は、所定の「残炭入れ」に入れます。 ・まきを束ねてある針金は、回収後食堂の売店へお持ちいただき精算をしてください。 <p>※清掃用具は、利用者玄関横の掃除用具庫内の用具を使ってください。</p>	<p>【活動終了後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロウソクが全部消えているのを確認し、キャンドル台の整理をした後、もとの位置に戻すようにしてください。 また、使用した場所の清掃をしてください。

《 資 料 》

①女神の言葉

私は、曾爾の神の使いとして、〇〇学校みなさんに神の聖なる火をつかわすために来た女神です。赤々と燃えるこの火には、平和と友情と親睦の願いがこめられています。みなさん、曾爾青少年自然の家で友だちと一緒にがんばったこと、苦しかったこと、楽しかったことをいつまでも忘れずに、一層友情の輪を広げていきましょう。

②営火長の言葉

私たちは、全員協力して曾爾青少年自然の家で実りある生活ができたことに感謝します。私たちは、ススキの海原と高い山々に囲まれた曾爾の大自然のもとで、●泊▲日の生活を全員協力しながらおこない、ひとつの喜びと新しい友を得たことを感謝します。赤々と燃える聖なる火は、未永く私たちの胸の中に残ることを信じてこの集いを閉じたいと思います。

③献 詞（1人のとき）

家庭や学校からはなれ、大自然にどっぷりひたったとき、自然の雄大さをしみじみ感じます。友だちと一緒に汗を流しながらの活動、風呂場での背中での流しあい、食事やベッドの中でのおしゃべりなど、はじめての経験から「友だちっていいな。」と感じました。今日のこの感激を忘れることなく、この燃える炎のごとく、友情の火をいつまでも燃やし続けていきたいと思っています。

令和 ●●年 ▲▲月 ■■日

代 表 ● ▲ ■ ◆

④献 詞（グループのとき）

第1グループ	友情の火	私たちは、友情を大切にすることを誓います。
第2グループ	社会につくす火	私たちは、社会につくすことを誓います。
第3グループ	自然を大切にす火	私たちは、自然を大切にすることを誓います。
第4グループ	誠実の火	私たちは、誠実な人間になることを誓います。

5. 留 意 点

- ◎ 火災や、やけど防止のため、火の取り扱いには十分気をつけましょう。
- ◎ トーチの消火及び緊急時の安全のため、消火用のバケツを必ず準備してください。
- ◎ 強風の時は、キャンプファイアーの実施は見送り、キャンドルフायアーに切り替えましょう。